

## キャトル・ステーションが利用しやすくなります

平成31年4月よりキャトル・ステーション（CS）の運用方法を一部変更し、酪農家、肉用牛農家みなさんに利用していただけるよう見直しました。

### CS利用の主な変更点！

- 乳用種雌子牛も買取り対象とします。なお、買取りした子牛は、原則買取り農家へ売渡します。（最大240日齢まで）
- 黒毛和種子牛の場合も、買取り農家が希望すれば、自家保留を前提に、当該農家へ売渡します。（最大270日齢まで）

★売渡しの場合の販売額は次のとおりです。

買取り額 + 飼養日数 × 1日あたり飼養実費（700円） ※税抜き

※なお、黒毛和種の場合は、子牛登記検査費用、親子判定調査費用を加算させていただきます。

修正箇所！

#### <酪農家>

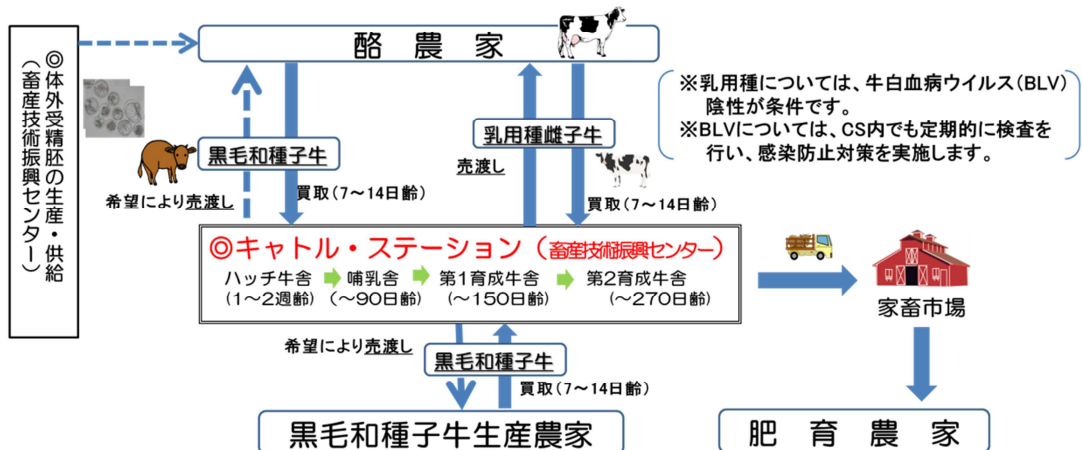
- ★乳用雌子牛を8か月齢まで預かってほしい。
- ★乳用雌子牛を哺乳期間だけでも預かってほしい。
- ★県外預託までの間、預かってほしい。

#### <肉用牛農家>

- ★肥育は雌だけなので、雄だけ買取ってほしい。
- ★分娩が重なったので、今回だけでも子牛を預けたい。
- ★和牛子牛を哺乳期間だけでも預かってほしい。等々

このような場合にぜひご利用ください！

### ◆キャトル・ステーション利用の仕組み



※2019年4月～9月の買取価格（税抜き）

黒毛和種（去勢・雌）：352,017円/頭      乳用種（雌）：35,000円/頭